

平成19年度 川崎市特別養護老人ホーム長沢壮寿の里の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 (川崎市川崎区砂子1-10-2 ソシオ砂子ビル11階)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	ア 特別養護老人ホーム事業 定員:53人 イ 短期入所生活事業 定員:12人 ウ 通所介護事業 定員:50人/日 エ 居宅介護支援事業 オ 老人介護支援センター(地域包括支援センターの業務の一部として実施)

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持・管理に関する業務	<p>設備・警備・清掃の総合委託により、経費の削減を図ってきた、また、不良設備の改修を行い、安全安心な施設運営に努めた。</p> <p>【委託業務の内容】 設備・警備・清掃業務、給食調理業務、寝具リース業務、一般廃棄物処理業務 ほか</p>	<p>設備・警備・清掃業務を総合委託し、適正な施設・設備維持管理に努めていると評価できる。また、開設から19年を経過していることから、今後においても、施設・設備に関して不具合が発生した場合、利用者への影響を最小限に抑え、早急な対応ができるように指導していく。</p>
② 介護サービス提供への取組み	<p>特別養護老人ホームについては、住み慣れた施設で最後まで生活していけるよう終末期介護の体制作りを行った。</p> <p>通所介護事業については、昨年度に引き続きパワーリハビリテーションを行ったほか、セラバンド等の導入によりプログラムの充実を図った。</p> <p>居宅介護支援事業については、利用者に対し、利用者満足度調査を行ったほか、公正中立を念頭に置き、サービス事業者の情報提供に努めた。</p> <p>食事に関して特別養護老人ホームでは、誤嚥の予防に努め、通所介護事業では、栄養士が、職員や利用者の意見を聞き、積極的にメニューの改善に取り組んだ。</p>	<p>利用者個々の状況に応じたサービスの提供に努め、食事に関して積極的な取組みが評価できる。</p> <p>今後においても、より一層のサービス向上に向けた取組みを行うよう指導していく。</p>
③ 利用者の安全管理	<p>感染症対策として、感染症対策マニュアルに基づく対応に取組み、ノロウイルスの集団感染の未然防止に努めた。また、インフルエンザ対策として、利用者全員に予防接種を行った。</p> <p>事故防止への取組みは、毎月の事故対策検討委員会で、事故の検証と再発防止に向けた検討を行った。</p> <p>災害発生時の対応について、緊急時マニュアルを基に、必要物資の備蓄を行い、計3回の防災訓練を実施した。また、多摩消防署の指導の下、周辺住民の協力を得て、総合防災訓練を実施した。</p>	<p>利用者の安全管理について、周辺住民を巻き込んだ訓練の実施など、積極的な取組みが評価できる。</p> <p>今後においても、事故の発生防止に努め、また、実際に事故が発生した場合には、最小限に被害を抑えられるよう、適切に指導していく。</p>
④ 職員教育、研修の状況	<p>施設の運営方針に基づき、研修を行い、職員が担当業務以外の事業を理解できるよう、職員交換研修を行った。</p> <p>【主な研修内容】 「認知症ケア研修」 「交換研修」 「感染症研修」 「胃ろう研修」 「高齢者虐待への円滑な対応にむけて」 「かながわ老人福祉施設研究大会」 「アセスメントとチームケア」 「利用者の権利擁護と苦情解決事業」 「福祉職員向け現任研修」</p>	<p>多くの研修を行い、職員の質の向上や、職員同士での知識の向上を積極的に行っていると評価できる。</p> <p>今後においても、職員の質の向上が不可欠であることから、職員の教育に力を入れるよう指導していく。</p>

評価項目	19年度管理運営の状況	評価及び指導																																																																																
(2) 事業実績 ① 利用状況について	<p>ア 特別養護老人ホーム 入所定員:53人</p> <p>介護度別利用者数(平成20年3月末現在)</p> <table border="1" data-bbox="539 253 991 376"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>14人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22人</td> <td>0人</td> <td>54人</td> <td></td> </tr> </table> <p>※常時施設が満床であるのに加えて入退院者が多いこと等から、「老企第40号」に基づくやむを得ない措置等による定員超過のため、定員数を超えての入所となることがある。</p> <p>イ 短期入所事業 入所定員:12人</p> <p>年間延べ利用者数 3,933人</p> <p>月別延べ利用者数</p> <table border="1" data-bbox="539 703 991 831"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td> </tr> <tr> <td>290人</td><td>297人</td><td>313人</td><td>341人</td><td>303人</td><td>321人</td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td>321人</td><td>345人</td><td>371人</td><td>334人</td><td>351人</td><td>346人</td> </tr> </table> <p>定員に対する稼働率 89.7%</p> <p>ウ 通所介護事業 通所定員:50人</p> <p>年間延べ利用者数 8,231人</p> <p>月別延べ利用者数</p> <table border="1" data-bbox="539 1070 991 1198"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td> </tr> <tr> <td>648人</td><td>740人</td><td>692人</td><td>686人</td><td>690人</td><td>677人</td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td>749人</td><td>685人</td><td>625人</td><td>611人</td><td>703人</td><td>725人</td> </tr> </table> <p>定員に対する稼働率 56.2%</p> <p>エ 居宅介護支援事業</p> <p>介護度別給付管理者数(平成20年3月分)</p> <table border="1" data-bbox="539 1368 991 1496"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> </tr> <tr> <td>22人</td> <td>26人</td> <td>11人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>72人</td> <td></td> </tr> </table> <p>オ 老人介護支援センター(地域包括支援センター)</p> <p>老人介護支援センターは、地域の老人の福祉に関する相談援助や市町村等との連絡調整、その他必要な援助を行うもので、従前は在宅介護支援センターとして活動していた。地域の相談支援窓口となることから指定管理者の業務の範囲としているものだが、平成18年4月からは、制度改正により新たに創設された地域包括支援センターの業務の一部として、別途委託事業により実施している。</p>	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	3人	7人	14人	8人	要介護5	その他	合計		22人	0人	54人		4月	5月	6月	7月	8月	9月	290人	297人	313人	341人	303人	321人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	321人	345人	371人	334人	351人	346人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	648人	740人	692人	686人	690人	677人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	749人	685人	625人	611人	703人	725人	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	22人	26人	11人	6人	要介護5	その他	合計		7人	0人	72人		<p>通所介護事業については施設全体から見ると、やや低い稼働率となっているが、特別養護老人ホーム、短期入所事業について、高い稼働率となっていることから、全体として良好な利用実績となっている。</p> <p>今後においても、高い稼働率を維持できるように指導していく。</p> <p>老人介護支援センターは、別途委託をしている地域包括支援センターの業務の一部として実施されているものであるが、地域住民の直接的な相談支援窓口となることから、更なる充実を図ること。</p>
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4																																																																														
3人	7人	14人	8人																																																																															
要介護5	その他	合計																																																																																
22人	0人	54人																																																																																
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																													
290人	297人	313人	341人	303人	321人																																																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																													
321人	345人	371人	334人	351人	346人																																																																													
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																													
648人	740人	692人	686人	690人	677人																																																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																													
749人	685人	625人	611人	703人	725人																																																																													
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4																																																																															
22人	26人	11人	6人																																																																															
要介護5	その他	合計																																																																																
7人	0人	72人																																																																																

評価項目	19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
② 行事の実施状況	年間行事の実施に加え、利用者が楽しめるように工夫して行事を行っている。 【主な行事・活動】 ホーム喫茶、ホームバー、誕生会、夏祭り、映画鑑賞会、クリスマス忘年会、新年会、節分、お花見など	数多くの行事を実施していると評価できる。 今後においても、季節感のある行事を実施するよう指導していく。																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況について	<p>ア 収入の状況 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>短期入所事業</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>206,011,888</td> <td>42,321,999</td> <td>78,232,696</td> <td>9,953,040</td> <td>336,519,623</td> </tr> </tbody> </table> <p>収入については、介護保険制度による介護報酬と利用者負担金を指定管理者の利用料金収入として収受したものである。 地域包括支援センターについては、指定管理者に対する委託事業ではないことから、ここでは計上していない。</p> <p>イ 支出の状況 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>短期入所事業</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>216,229,133</td> <td>41,512,223</td> <td>68,023,940</td> <td>12,277,881</td> <td>338,043,177</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業運営に必要な人件費・事務費・事業費として支出されたものである。</p> <p>ウ 決算(収支差引)の状況 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>短期入所事業</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-10,217,245</td> <td>809,776</td> <td>10,208,756</td> <td>-2,324,841</td> <td>-1,523,554</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別養護老人ホーム事業及び居宅介護支援事業については、支出額が収入額を上回る結果となった。</p>	特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	206,011,888	42,321,999	78,232,696	9,953,040	336,519,623	特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	216,229,133	41,512,223	68,023,940	12,277,881	338,043,177	特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	-10,217,245	809,776	10,208,756	-2,324,841	-1,523,554	施設全体において、支出額が収入額を上回っている。 今後において、通所介護事業の稼働率の上昇を図り、安定した事業運営に向けて指導する。
特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																												
206,011,888	42,321,999	78,232,696	9,953,040	336,519,623																												
特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																												
216,229,133	41,512,223	68,023,940	12,277,881	338,043,177																												
特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																												
-10,217,245	809,776	10,208,756	-2,324,841	-1,523,554																												
(4) その他																																
① 利用者からの意見・要望・苦情等への対応	利用者からの意見・要望・苦情に対する対応については、職員の意識として「苦情は宝」ととらえ、施設サービスの向上に活かすため、苦情・相談対応マニュアルをもとに、施設で利用している苦情相談受付票を活用し、施設全体で丁寧な対応をしている。	利用者からの意見・要望・苦情に対しては、迅速な対応を行うよう努めていると評価できる。 今後においても、サービスの質の向上に向け、適正な対応ができるように指導していく。																														
② 個人情報の保護	法人としての基本方針や、施設独自に規定している、「個人情報取扱い基本方針」に沿って個人情報保護に取り組んでいる。 面会者名簿の様式を変更し、個別の様式にそれぞれ記入していただくなど、ご家族等の個人情報についても管理徹底している。	個人情報の取扱いは、施設全体で共通認識を図ることが重要であり、個人情報の保護に向けた取組みは評価できる。 今後においても、個人情報保護について指導していく。																														

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

施設及び設備の管理に関して、総合管理者に委託するなどにより経費の削減を図っているなど、適正な管理を行っているとして評価できる。苦情については、迅速な対応に努め、サービスの向上に活かしていることや、職員に対する研修も数多く実施しているなど、全体的に良好な管理運営がなされていると評価できる。しかしながら、施設全体において、支出額が収入額を上回る結果となっている。
--

4 平成20年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

今後も質の高いサービスの提供を行い、より一層サービスの質の向上に向け、職員研修など積極的に取り組むよう期待する。また、施設及び設備について、開設19年目にあたり、修繕箇所が増えてきているが、今後においても突発的な不具合に対しても迅速に対応できるよう、日ごろから適正な維持・管理に努めるよう指導していく。 また、現在の介護報酬制度上、スケールメリットが働かない小規模施設であり、一般的に今の施設の定員数では、採算が取りにくい状況であるが、今後についても収支の改善に努力するよう指導していく。
